Live Data の証明書

（注） この付録の手順は、Unified CCE 展開にのみ適用されます。Packaged CCE 展開でのライブ データ証明書については、『*Cisco Packaged Contact Center Enterprise Installation and Upgrade Guide*』を参照してください。

- 証明書と保護された通信 （1 ページ）
- 自己署名ライブ データ証明書のエクスポート （2 ページ）
- 自己署名ライブ データ証明書のインポート （3 ページ）
- サードパーティ CA 証明書の取得およびアップロード （3 ページ）

証明書と保護された通信

HTTPS を使用して Finesse サーバ、Cisco Unified Intelligence Center サーバ、Live Data サーバ間でセキュアな通信を行うには、セキュリティ証明書をセットアップする必要があります。Finesse サーバおよびCisco Unified Intelligence Center サーバをライブ データ サーバと通信させるには、ライブ データ証明書と Cisco Unified Intelligence Center 証明書を Finesse にインポートし、ライブ データ証明書を Cisco Unified Intelligence Center にインポートする必要があります。

サーバ上	証明書のインポート元
Finesse	ライブ データおよび Unified Intelligence Center
ライブ データ	なし
Cisco Unified Intelligence Center	ライブ データ

次の操作を実行できます。

- ライブ データで提供される自己署名証明書を使用します。

（注） 自己署名証明書を使用する場合、エージェントはサインイン時にFinesse デスクトップでライブ データ証明書を受け入れてからでないと、ライブ データ ガジェットを使用できません。

- 認証局（CA）証明書を内部で生成します。
- サードパーティ ベンダーから認証局（CA）証明書を入手してインストールします。

自己署名ライブ データ証明書のエクスポート

ライブデータをインストールすると、自己署名証明書も生成されます。これらの自己署名証明書を（独自の CA 証明書を生成したり、サードパーティ証明書ベンダーから CA 証明書を取得したりする代わりに）使用する場合は、まず、この手順に従ってライブ データおよび Cisco Unified Intelligence Center から証明書をエクスポートする必要があります。ライブ データ サーバと Cisco Unified Intelligence Center サーバの A 側と B 側の両方からエクスポートする必要があります。証明書を Finesse にインポートし、A 側と B 側の両方の証明書を Finesse サーバのそれぞれの側にインポートする必要があります。

その他の自己署名証明書を使用する場合と同様に、ライブデータ ガジェットを使用する前に、エージェントはサインイン時に Finesse デスクトップでライブ データ証明書を受け入れる必要があります。

手順

ステップ 1 ライブ データ サーバで Cisco Unified Operating System Administration にサインインします（http://ライブ データ サーバのホスト名/cmplatform）。

ステップ 2 [Security] メニューで [Certificate Management] を選択します。

ステップ 3 [Find] をクリックします。

ステップ 4 次のいずれかを実行します。

- サーバの tomcat-trust 証明書がリストにない場合、[新規生成（Generate New）] をクリックします。証明書の生成が完了したら、サーバをリブートします。この手順を再開します。
- サーバの tomcat-trust 証明書がリストにある場合は、それをクリックして選択します。（選択した証明書にサーバのホスト名が含まれていることを確認します）。

ステップ 5 [.pemファイルのダウンロード（Download .pem file）] をクリックして、ファイルをデスクトップに保存します。

上記の手順は、必ず A 側と B 側の両方に対して実行してください。

ステップ 6 ライブ データ証明書をダウンロードしたら、Cisco Unified Intelligence Center サーバで Cisco Unified Operating System Administration（http://*CUIC* サーバのホスト名/cmplatform）にサインインして、ステップ 2 ～ 5 を繰り返します。

次のタスク

次に、ライブ データ証明書と Cisco Unified Intelligence Center 証明書を Finesse サーバにインポートする必要があります。

自己署名ライブ データ証明書のインポート

Finesse サーバに証明書をインポートするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Finesse サーバで、次の URL を使用して Cisco Unified Operating System Administration にサインインします。

http://*Finesse* サーバの *FQDN*:8080/cmplatform

ステップ 2 **[Security]** メニューで **[Certificate Management]** を選択します。

ステップ 3 [Upload Certificate] をクリックします。

ステップ 4 [Certificate Name] ドロップダウン リストで、[tomcat-trust] を選択します。

ステップ 5 [Browse] をクリックし、ライブ データまたは Cisco Unified Intelligence Center の証明書（**.pem** ファイル拡張子を持つファイル）が置かれている場所を参照します。

ステップ 6 ファイルを選択し、[Upload File] をクリックします。

ステップ 7 残りのロードされていない証明書について、ステップ 3 ～ 6 を繰り返します。

ステップ 8 両方の証明書をアップロードしたら、Finesse サーバ上で Cisco Finesse Tomcat を再起動します。

次のタスク

上記の手順は、必ず A 側と B 側の両方に対して実行してください。

サードパーティ CA 証明書の取得およびアップロード

ライブ データ サーバ、Finesse サーバ、および Cisco Unified Intelligence Center サーバ間の HTTPS 接続を確立するために、サードパーティ ベンダーから提供される認証局（CA）証明書を使用することができます。

サードパーティの CA 証明書を使用するには、次のようにします。

Live Data の証明書

- ライブ データ サーバから、ルート証明書およびアプリケーション証明書の証明書署名要求（CSR）を生成し、ダウンロードします。
- サードパーティ ベンダーからルート証明書およびアプリケーション証明書を取得します。
- 適切な証明書をライブ データ サーバ、Unified Intelligence Center サーバ、および Finesse サーバにアップロードします。

この手順を完了するには、https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/customer-collaboration/unified-contact-center-enterprise-1101/200286-Unified-CCE-Solution-Procedure-to-Obtai.html にアクセスし、TechNote「*Procedure to Obtain and Upload CA Certificate from a Third-party Vendor*」の手順に従ってください。